

調査計画(案)について

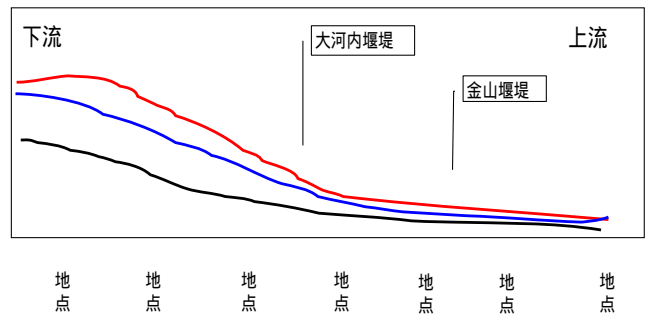
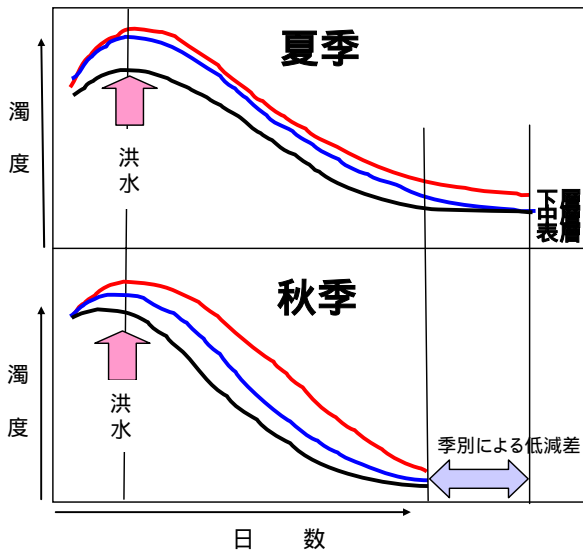
H16 検討による考察

	問題点・課題	H16 検討による考察
(1)	白濁の物質は何なのか？	<ul style="list-style-type: none"> 白濁物質の主成分は、鉱物(石英)であり、元素はケイ素である。 (水質・底質分析より)
(2)	発生源は何処か？	<ul style="list-style-type: none"> 洪水時に大谷川(西日影沢等含む)からの濁水が顕著であり、一般的に東側斜面より西側斜面の支川からの濁水が目立つ。 安倍川本・支川の河床に多量の微細粒子が堆積している。 (現地調査より)
(3)	何故、近年、濁水が長期化するようになり、その期間が夏場から秋季に特化しているのか？	<ul style="list-style-type: none"> 近年の集中豪雨増、崩壊地の拡大が一因と推測される。それ以外にも複合的な要因があるかも知れないが、相当量がポテンシャルとして存在している。 夏場の河川流量増が濁水長期化に影響していると推測される。(流心での河床細粒子の巻き上げ流送と、水際部での堆積)
(4)	何故、大河内砂防堰堤から下流だけが濁水が長期化するのか？ また、下流に向かい濁水がひどくなるのか？	<ul style="list-style-type: none"> 大河内砂防堰堤付近を境に河床勾配や河川幅など、地形特性が大きく変化していることが一因として推測される。
(5)	濁水発生のメカニズムは？	・未検討
(6)	濁水が長期化することで生態系への悪影響はあるのか？	・未検討
(7)	濁水長期化の対策はあるのか？	・未検討

H17調査計画(案)について

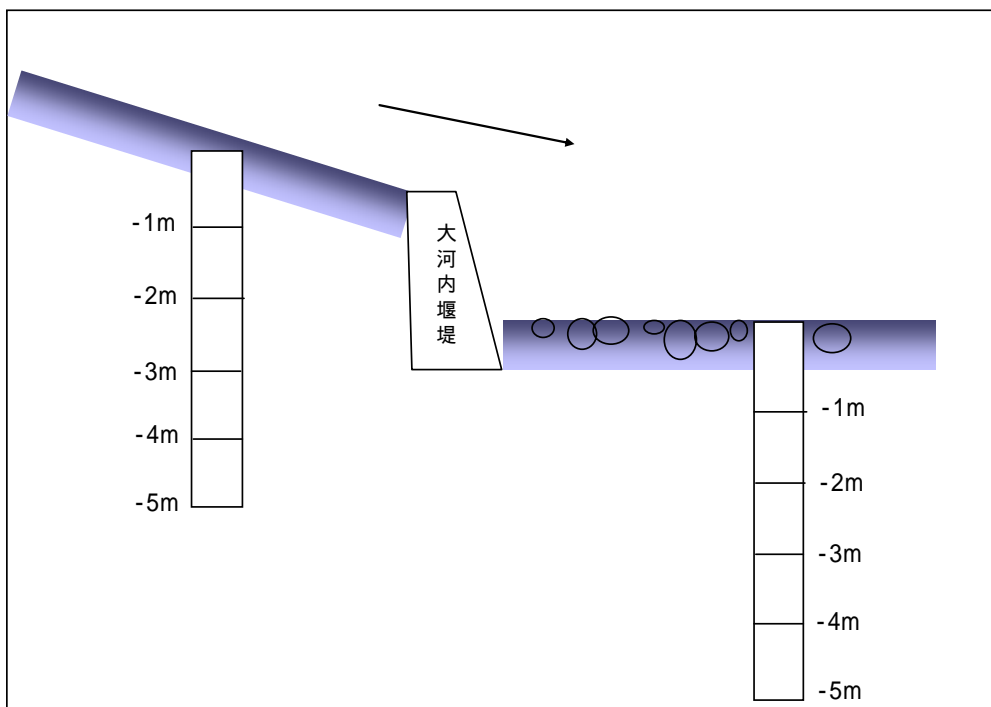
調査項目	調査目的	調査内容
濁度調査	濁度の定量的把握 (濁度の経時的变化、河川縦断的分布状況の把握)	<ol style="list-style-type: none"> 調査手法 濁度計による濁度定点測定。 水深(表層・中層・下層)毎に測定。 その他、表面流速を測定。 大河内砂防堰堤にて流量観測。 調査地点 安倍川流域 12地点。 安倍川本川 8地点 支川 4地点(大谷川、西日影沢、濁川、瀬戸沢) 調査期間 夏季(7月～8月頃)と秋季(10月～11月頃)の2回。 洪水後、各地点1回/日の連続測定を一定期間実施。

イメージ図

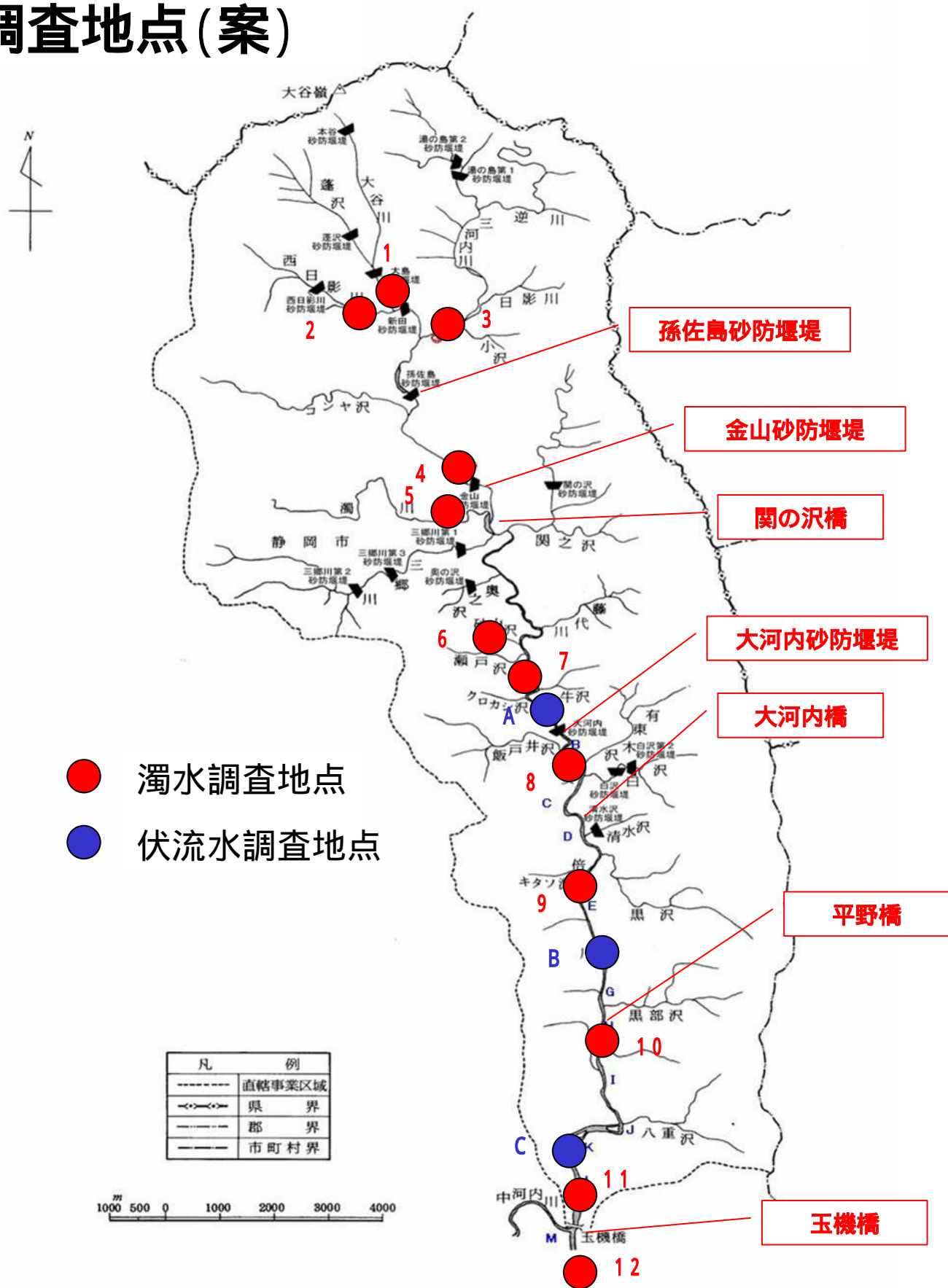


調査項目	調査目的	調査内容
伏流水調査	河床砂礫の堆積状況と伏流水の濁度状況の把握。	<p>1. 調査手法 河床ボーリング調査(現河床-5m、116mm)。現河床から1m毎の濁度測定。</p> <p>2. 調査地点 大河内砂防堰堤の上流1地点、下流2地点。</p> <p>3. 調査期間 平常時に1回。</p>

イメージ図



調査地点(案)



- 濁水調査地点
- 伏流水調査地点

孫佐島砂防堰堤

金山砂防堰堤

関の沢橋

大河内砂防堰堤

大河内橋

平野橋

玉機橋